

講義名: 国際機構論B <春> 曜日: 金2 担当教員名: 軽部 恵子	ナンバリングコード: POLS2430 曜日2:		
研究室: 聖アンデレ館10階1022号室 オフィスアワー: 火曜日16時45分~17時30分、金曜日16時45分~17時30分	メールアドレス:		
授業形態			
『講義』『アクティブラーニング』			
講義・演習概要			
この科目は、国連のしくみについて学びます。具体的には、国連憲章の重要条文、国連の6つの主要機関、とくに総会と安保理を具体的な事例とともに学んでいきます。国際機構論の理解には、国際紛争の背景となる世界史、とくに近現代史の知識が求められます。受講生は教科書および参考文献を使って、自身の世界史の知識を確認し、必要であれば自習してください。講義冒頭には、国内外のメディアのホームページを用いて、メディア・リテラシーも学びます。			
学習(到達)目標			
①国連の主要機関とその権限・任務について学ぶ。 ②安全保障、人権の保障、持続可能な開発とSDGs、核軍縮について、国連の取り組みと成果、問題点を考察する。 ③国際問題の理解に必要な一般教養、とくに歴史・地理・文化・宗教を修得する。 ④メディア・リテラシーを身につける。			
講義・演習計画			
【第1回】 第二次世界大戦と国連の設立			
【第2回】 国連憲章(1) 目的			
【第3回】 国連憲章(2) 原則			
【第4回】 総会			
【第5回】 事務総長			
【第6回】 安保理(1) 任務と権限			
【第7回】 安保理(2) 朝鮮戦争			
【第8回】 安保理(3) スエズ戦争とPKO			
【第9回】 安保理(4) 湾岸戦争			
【第10回】 安保理(5) 冷戦終結後の民族紛争			
【第11回】 安保理(6) アメリカ同時多発テロとイラク戦争			
【第12回】 人権の保障			
【第13回】 持続可能な開発とSDGs			
【第14回】 核軍縮			
【第15回】 まとめ、期末試験			
成績評価の方法			
試験	100%	レポート	その他
コメント	試験3回(25%、25%、50%)で決定します。最初の2回は抜き打ちで行います。詳細は第1回授業で発表します。		
テキスト			
著書	成美堂出版編集部編	タイトル	一冊でわかるイラストでわかる図解世界史
ISBN	978-4415103334	出版社	成美堂出版
教科書購入区分	大学オンライン販売	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
国際連合広報センター編『国際連合の基礎知識』第42版 関西学院大学総合政策学部発行、2018年 小川浩之他『国際政治史:主権国家体系のあゆみ』有斐閣、2018年 細谷雄一『迷走するイギリス:EU離脱と欧州の危機』慶応義塾大学出版会、2016年 蟹江憲史『SDGs ポストコロナの道しるべ』中央公論新社、2020年 南博・稲場雅紀『SDGs 危機の時代の羅針盤』岩波書店、2020年 ウィリアム・ベリー、トム・コリーナ『核のボタン 新たな核開発競争とトルーマンからトランプまでの大統領権力』朝日新聞出版 2020年			
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間)			
毎回の授業で指示される参考文献や参考URLをもとに、事前および事後学習をしてください。			
その他備考(担当教員用)			
教科書は毎回使います。			
キーワード			
国際機構、現代史、国連			
備考(管理者用)			
(旧:国際機構論)02~19E・SS・SW・B・L・J			